

令和4年度事業報告書

令和4年度における事業の状況は、次のとおりであった。

I. 会務・組織運営

1 理事会

- (1) 令和4年 4月 8日 令和4年第3回理事会（書面決議による開催）
 - ア 理事候補者の推薦について
 - イ 評議員候補者の推薦について
- (2) 令和4年 5月 27日 令和4年第4回理事会
 - ア 令和3年度事業報告の承認について
 - イ 令和3年度計算関係書類及び財産目録の承認について
 - ウ 評議員候補者の推薦について
 - エ 定時評議員会の開催について
- (3) 令和4年 6月 17日 令和4年第5回理事会（書面決議による開催）
 - ア 職員給与規程の一部を改正する規程について
- (4) 令和4年 7月 8日 令和4年第6回理事会（書面決議による開催）
 - ア 理事候補者の推薦について
- (5) 令和4年12月 21日 令和4年第7回理事会
 - ア 令和4年度資金収支補正予算（第1号）について
 - イ 育児休業等に関する規程の全部改正について
 - ウ 職員給与規程の一部を改正する規程について
 - エ 理事候補者の推薦について
 - オ 評議員会の開催について
- (6) 令和5年 3月 20日 令和5年第1回理事会
 - ア 令和4年度資金収支補正予算（第2号）について
 - イ 役員等賠償責任保険契約について
 - ウ 令和5年度事業計画について
 - エ 令和5年度資金収支予算について
 - オ 志賀町共同募金委員会運営委員の推薦について

2 評議員会

- (1) 令和4年 4月 25日 令和4年第1回評議員会（書面決議による開催）
 - ア 理事の選任について
- (2) 令和4年 6月 22日 令和4年第2回評議員会
 - ア 令和3年度事業報告の承認について
 - イ 令和3年度計算関係書類及び財産目録の承認について
- (3) 令和4年 7月 25日 令和4年第3回評議員会（書面決議による開催）
 - ア 理事の選任について
- (4) 令和5年 1月 12日 令和5年第1回評議員会（書面決議による開催）
 - ア 理事の選任について

3 監事会

- (1) 令和4年 5月 17日 令和3年度1月～3月の会計監査及び令和3年度決算監査
- (2) 令和4年 8月 10日 令和4年度4月～6月の会計監査
- (3) 令和4年11月 8日 令和4年度7月～9月の会計監査
- (4) 令和5年 2月 13日 令和4年度10月～12月の会計監査

4 評議員選任・解任委員会

- (1) 令和4年 5月17日 令和4年第1回 評議員選任・解任委員会
ア 評議員の選任について
- (2) 令和4年 8月10日 令和4年第2回 評議員選任・解任委員会
ア 評議員の選任について

5 寄附採納業務

年間寄附件数は22件で、現金1,451,253円の寄附をいただいた。

【寄附金明細】

(単位：円)

No.	氏名	住所	金額
1	今本 進	志賀町福浦港	100,000
2	唐苧 永	志賀町直海	100,000
3	岡田 至	志賀町矢田	100,000
4	片山 次男	志賀町矢蔵谷	100,000
5	北野 徳秀	志賀町福井	100,000
6	板尾 邦子	志賀町末吉	100,000
7	守田 秀二	金沢市岸川町	50,000
8	川野 昌子	東京都杉並区	50,000
9	落合 邦夫	志賀町大福寺	100,000
10	山本 一範	志賀町末吉	200,000
11	藤田 昭一	志賀町館開	50,000
12	匿名		5,000
13	匿名		38,572
14	匿名		703
15	匿名		10,000
16	匿名		100,000
17	北陸電力株式会社有志一同		79,466
18	土田エアロビの会		10,489
19	末吉4区婦人会		799
20	明宏会 一川明宏		93,224
21	志賀町婦人加工連絡会		10,000
22	J A志賀女性部志賀支部		53,000
計			1,451,253

6 基金運用

- (1) 寄附金747,681円及びまごころ基金管理にかかる預金利息478円をまごころ基金に組み入れた。
- (2) ボランティア育成基金管理にかかる預金利息12円をボランティア育成基金に組み入れた。
- (3) まごころ基金助成金として1,407,160円、公用車購入費として638,000円を取り崩した。

【まごころ基金助成金の内訳】

(単位：円)

助成先	助成金額	助成金の使途
麗心会	800,000	デイサービスセンターアイリスの送迎車購入
石川県医療在宅ケア事業団	607,160	志賀訪問看護ステーションの訪問車購入
計	1,407,160	

【基金運用状況】

(単位：円)

基金名		志賀町社会福祉協議会 まごころ基金	志賀町ボランティア 育成基金	運用資金積立預金	合 計
令和3年度末		18,161,701	1,247,807	50,886,000	70,295,508
内 訳	増加額	748,159	12	0	748,171
	減少額	2,045,160	0	0	2,045,160
	差引増減額	△1,297,001	12	0	△1,296,989
令和4年度末		16,864,700	1,247,819	50,886,000	68,998,519
管 理 内 訳	現金	0	0	0	0
	預金	定期 15,000,000	定期 0	定期 50,886,000	68,998,519
		普通 1,864,700	普通 1,247,819	普通 0	
	その他	0	0	0	0

II. 地域福祉活動推進事業

1 地域福祉活動計画の推進

(1) ボランティアのニーズ把握と情報提供

ボランティアセンターにおいてニーズの把握と情報提供や関係機関との連絡調整を図った。

(2) 世代間交流の推進

老人クラブ連合会と小学生が、ペタンクや昔遊びを通して交流する事業の支援を行った。志賀高校の生徒と老人クラブ連合会及び民生委員児童委員協議会高齢者部会が、ニュースポーツ体験を通して交流する事業や、志賀高校の生徒が考案したフレイル予防体操を、老人クラブ連合会会員や民生委員児童委員協議会高齢者部会に指導する機会の確保と支援を行った。また、老人クラブ新春書初め展に幼稚園児や小中学生の作品を展示したほか、体験コーナーを設けて交流を図った。志賀高校生による廃校活用イベント「志賀フェス」に参加し、老人クラブ会員と生徒が講師として竹とんぼ教室と竹とんぼ飛ばし大会を行った。

志賀町遺族会による小学生への平和教育事業の支援を行った。

(3) 事業者の協力による見守り支援体制の構築

石川県及び志賀町と協定を締結して見守り活動を行っている民間企業の把握に努めた。

(4) サロン活動や交流活動の支援

社協広報誌「しかふくし」やホームページに現在活動している様子を掲載し、サロン活動の周知を図った。

(5) 福祉関係機関の連携による情報提供の仕組みづくり

地域包括支援サブセンター業務を通じて、地域包括支援センター、福祉・医療関係機関と情報交換を行った。

(6) 福祉ニーズの把握と社協の役割の明確化

羽咋郡市自立支援協議会に参加し、生活課題の把握に努めるとともに、今後の協議会の運営のあり方について協議した。

2 第13回社会福祉大会の開催

7月28日に町内の福祉関係者101名が一堂に会し、福祉に対する認識を深め、地域福祉の振興を図るため本大会を開催した。式典では、16名・1団体に会長表彰を授与した。式典終了後には、志賀高校の生徒が取り組んだ世代間交流やボランティア活動の実践発表があった。「地域におけるメンタルヘルス対策と精神科医院の役割」と題して、石川県立こころの病院院長 北村立氏による記念講演を実施した。

3 総合相談事業（町受託事業）

総合相談所を志賀地域・富来地域において毎月1回ずつ開設し、地域住民の日常生活上の心配ごとについての相談に応じ、指導・助言を行った。3月28日に相談員としての視野を広げるため、弁護士の坂井美紀夫氏を招いて相談員研修会を開催し、相談を受ける際の留意点について学んだ。

【月別相談件数】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	2	1	0	1	1	3	1	2	1	2	1	2	17
志賀	3	3	0	3	1	0	5	2	4	1	5	0	27

【相談内容】

	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	母子保健・児童福祉	教育・青少年	心身障害者(児)福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	合計
富来				1	1			1	2	2	1	9						2	2	2	23
志賀	4			1	4		1		1	1		16	1					2	1	2	34

4 高齢者生きがい事業 (町受託事業)

羽衣大学の対象者を富来地域と志賀地域に分けて、文化ホールにおいて各6回開催し、高齢者の生きがいづくりを図った。

【講義内容・出席者数 (出席率)】

内 容		富来	志賀
第1講義 10月5・6日	県政28年の歩み 石川県公立大学法人 理事長 谷本正憲 氏	142名 (76%)	153名 (85%)
第2講義 10月12日	地域で暮らし続けるために！ ～健康長寿の秘訣～ 石川県理学療法士会 会長 北谷正浩 氏	141名 (76%)	—
第2講義 10月13日	地域で暮らし続けるために！ ～健康長寿の秘訣～ 石川県理学療法士会社会事業局業務推進部 副部長 石田修也 氏	—	148名 (85%)
第3講義 10月26・27日	あの歌・この歌「歌は心の免疫力をアップする！」 うたごえ喫茶の店 珈琲ラウンジあかとんぼ オーナー・アコーディオン奏者 米村博実 氏	134名 (72%)	136名 (76%)
第4講義 11月30日 12月1日	次世代につなぐ2つの健康 笠原健昭堂薬局 薬剤師・医学博士 氏	134名 (72%)	118名 (66%)
第5講義 12月7・8日	ままならぬ世を生き抜く 真宗大谷派 極應寺 住職 元藤了賢 師	138名 (74%)	121名 (68%)
第6講義 12月14・15日	今こそ物語を感じよう ～朗読と音楽でひらくこころの扉 朗読家・フリーアナウンサー 戸丸彰子 氏 ピアニスト 鶴見 彩 氏	120名 (65%)	128名 (72%)
入学生徒数		186名	179名
卒業証書授与者数		116名	116名

5 身体障害者等移送サービス事業

福祉車両を富来、志賀共に配置し、公共の交通機関を利用することが困難な身体障がい者や要介護高齢者の外出支援を行った。(利用登録者 富来:30名 志賀:53名)

【月別利用者数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	5	8	2	6	8	6	7	8	13	8	10	10	91
志賀	17	10	12	10	9	9	6	11	9	12	11	11	127

【月別利用延べ回数】

(単位:回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	5	9	3	9	11	7	8	9	16	9	13	12	111
志賀	20	12	14	13	11	14	7	15	15	26	15	18	180

6 老人福祉員事業（町受託事業）

町内の一人暮らし高齢者の安否確認や日常生活の支援をすることで、地域で安心した生活が送れるよう 495 名の老人福祉員を配置した。

【老人福祉員配置状況一覧】

(単位：人)

地 区	一人暮らし		老人福祉員	地 区	一人暮らし		老人福祉員
	男	女			男	女	
高浜地区	55	140	25	福浦地区	16	29	0
志加浦地区	52	67	53	熊野地区	16	31	30
堀松地区	28	46	15	富来地区	33	100	73
上熊野地区	27	40	26	稗造地区	20	30	9
土田地区	39	67	39	東増穂地区	22	55	13
加茂地区	9	15	20	西増穂地区	27	38	36
下甘田地区	11	27	18	西海地区	27	40	21
中甘田地区	38	54	47	西浦地区	32	66	70
				計	452	845	495
					1,297		

7 高齢者等除雪対策事業（町受託事業）

自力で除雪が困難な高齢者世帯等に対し、小型除雪機等による除雪作業の支援及び融雪剤の配布を行い、安全と安心を図った。(除雪利用件数 富来 7 件 志賀 13 件、融雪剤配布件数 富来 1 件、志賀 2 件)

8 ひとり親家庭等・低所得世帯学習支援事業（町受託事業）

ひとり親家庭等や低所得世帯の児童に対し、学習指導や日常生活相談などの家庭以外の居場所の提供を通じた人的支援を行うことにより、学力の向上等を図り将来の安定的な就業と自立の促進につなげるため、参加者を募り学習支援を行った。

(小学生対象 開催時期 8 月、回数 5 回、登録人数 3 名、参加延べ人数 9 名)

9 福祉サービス利用支援事業（県社協受託事業）

認知症高齢者等、判断能力が十分でない方に対して、金銭管理や福祉サービス利用等の援助を行うことで、地域における自立した日常生活を送れるよう支援した。(3 件)

10 広報啓発事業

社協広報誌「しかふくし」を年間 3 回発行し、ホームページで地域福祉に関する広報・啓発を行った。(ホームページアドレス <https://shika-shakyo.or.jp>)

11 福祉団体事務局

各種団体の事務及び活動の支援を行い、事業の活性化及び自立促進に努めた。(ボランティア連絡協議会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、心身障害者福祉協会、母子寡婦福祉会、遺族会、傷痍軍人会、英霊にこたえる会、赤十字奉仕団、リハビリ友の会、地域福祉推進チーム)

12 人工透析通院助成事業

福祉有償運送を利用して通院する人工透析患者に対して、運送料金の助成を行った。

【月別利用者数】

(単位：人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
2	2	1	0	1	1	1	2	3	3	3	3	22

13 フードバンク・フードドライブ事業

企業や家庭で備蓄されている食品の寄贈を受け、生活困窮者や福祉団体など、食の支援を必要としている方へ提供した。(受贈 67 件、提供 181 件)

III. ボランティアセンター活動事業

1 ボランティアの登録・斡旋・相談

ボランティア活動者を登録し、活動の斡旋を行うとともにボランティア活動に関する相談を受けた。(登録 806 名、斡旋 176 名、相談 29 件)

2 ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動保険等の加入手続きと掛金の助成を行った。(活動保険加入者 1,257 名、行事用保険 16 団体、福祉サービス総合補償 2 件、送迎サービス補償 3 件)

3 福祉教育の推進

志賀高校において、高齢者疑似体験を実施した。また、志賀高校生が民生委員・児童委員の訪問活動に同行して高齢者宅へ訪問した。

4 地域介護予防活動支援事業（町受託事業）

高齢者の閉じこもり防止と介護予防支援のため、そくさい会連絡会を年 9 回開催し、そくさい会へ職員派遣などの活動支援及び指導を行った。

【そくさい会地区別開催一覧】

(単位：回)

名称	回数	名称	回数	名称	回数	名称	回数
1・3区小浜	12	北吉田	12	米浜	12	稗造健康サロン	11
6区	12	清水今江	12	米浜メンズ	6	稗造地区計	11
あさひ	12	末吉	12	下甘田地区計	30	里本江	0
はまなす	8	堀松地区計	60	大島	12	給分	12
東旭	12	釈迦堂	12	坪野	10	中浜	0
高浜地区計	56	直海	12	甘田	12	相神	0
川尻	12	米町	12	中甘田地区計	34	草江	12
町	12	牛ヶ首	12	ふくら	12	東増穂地区計	24
安部屋	12	上熊野地区計	48	福浦地区計	12	西海風戸	0
安部屋営団	12	仏木	12	豊後名	12	西海風無	0
上野	12	印内	12	中山	6	西海地区計	0
大津	9	たにや	10	熊野地区計	18	赤崎	12
小浦	12	土田地区計	34	富来地頭町	10	笹波	0
百浦	12	矢駄	11	富来領家町	12	西浦地区計	12
赤住	12	安津見	12	しおさい	11		
のとり	11	加茂地区計	23	富来高田	12		
志加浦地区計	116	二所宮	12	富来七海	12		
堀松	12	福井	0	富来生神	12	合計 56 か所	
緑ヶ丘	12	大坂	0	富来地区計	69	実施 48 か所	547

5 ボランティア活動の支援

古切手、プリペイドカード、インクカートリッジ等の収集と情報提供を行った。

6 ボランティア団体の支援

各団体の活動が計画的・継続的に発展するために相互の連絡調整を行った。

7 各種用具の短期間貸出

ボランティア団体やそくさい会等にレクリエーション用具等の貸出を行った。

IV. 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金事業

1 一般募金配分金事業

令和 3 年度に集まった一般募金から配分を受け、福祉教育や地域福祉に関する事業を実施した。

ア ひとり親家庭で義務教育が修了する生徒へ記念品を贈呈した。(14 件)

イ 社協広報誌「しかふくし」を発行し、社協活動の PR を行った。(年 3 回)

ウ 社会福祉大会開催への支援を行った。

エ 外出支援事業として車いすの貸し出しを行った。(富来 19 件、志賀 23 件)

オ 生活サポート事業として、在宅で援助が必要な要支援者に対して、志っはりサポート隊を派遣して一緒に家事援助等を行うことで、自立した生活を支援した。

（利用者：登録 70 名、利用者 24 名、延べ利用件数 140 件）
 （サポーター：登録 76 名、活動者 28 名、延べ活動件数 326 件）

カ 1 2月に高齢者慰問事業として、ボランティア連絡協議会及び民生委員児童委員協議会と協力し、80歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者世帯を対象に生活用品を贈った。(795世帯)

2 歳末たすけあい配分金事業

令和4年度に集まった歳末たすけあい募金から配分を受け、一般募金配分金と合わせて高齢者慰問事業を行った。

V. 志賀町共同募金委員会事業

1 会務・組織運営

運営委員会、審査委員会、監事会の開催と会計事務を行った。

2 赤い羽根共同募金運動の実施

10月から12月までを運動期間とし、各区に戸別募金を依頼したほか募金箱の設置を行った。

【募金内訳】

種別	件数(件)	金額(円)	備考
戸別募金	6,098	1,494,975	目安額1戸250円
街頭募金	1	14,769	
学校募金	3	47,861	小学校2校、高校1校
職域募金	7	95,724	石田工業、長根尾電気商会、北陸電力、役場職員互助会、志賀農業協同組合、アクアパークシ・オン、社会福祉協議会
法人募金	0	0	
募金箱	64	126,170	いこいの村能登半島、能登ロイヤルホテル、能登ゴルフ倶楽部、大和ハウス工業、石川サンケン本社・志賀工場、アリス館志賀、花のミュージアムフローリィ、アクアパークシ・オン、みちのえき旬菜館、道の駅とぎ海街道、海洋センターフレア、北國銀行(高浜・富来支店)、のと共栄信用金庫(高浜・富来支店)、町内郵便局(12か所)、どんたく高浜店、ロッキヤ(志賀の郷・富来店)、北市、ますもと、くっぺ、闘牛茶屋、花や249、ドライブインのうみ、8番らーめん(高浜・富来店)、市左衛門、シュクレ・プラージュ、海洋センターフレア、富来病院、向クリニック、増穂浦ショッピングモールアスク、トギストアー、てらおか風舎、八幡屋、満升、はし本、いさりび、TAKAYAMA、エビス屋、はまのデパート、花よし、とよ島、西海丸、やすらぎ荘、シルバーハウス、とぎ地域福祉センター、役場、社会福祉協議会(本・支所)、匿名1件
イベント募金	3	20,606	羽衣大学、JA志賀秋の展示会、志賀フェス
その他	6	11,895	匿名寄附、預金利息
合計	6,182	1,812,000	

【使途内訳】

(単位:円)

種別	金額	備考
広域配分	379,000	石川県共同募金会へ
運動経費	23,000	令和5年度一般募金の活動経費へ
社会福祉事業配分	1,315,000	令和5年度の事業へ
災害準備金拠出額	95,000	令和4年度災害準備金拠出分
合計	1,812,000	

3 歳末たすけあい募金運動の実施

12月に歳末たすけあい募金運動として、増穂浦ショッピングモールアスクで街頭募金(志賀高校生徒)を実施し、20,954円の募金が寄せられた。また、10,046円の寄附が寄せられた。

4 広報活動

社協広報誌「しかふくし」において、募金活動の周知を図った。

- 町内の福祉団体への事業助成を行った。(社会福祉協議会、老人クラブ連合会、母子寡婦福祉会、心身障害者福祉協会) また、ボランティア活動普及のため、町内の学校にボランティア事業に対する助成を行った。(志賀高校)

VI. 日赤志賀町分区事業

1 赤十字社員増強運動の実施

- (1) 5月を赤十字運動月間とし、全戸に広報誌を配布した。

10月に全戸に広報誌を配布し、各区に戸別社資の依頼を行った。また、志賀地域においては赤十字奉仕団に依頼、富来地域においては集金用封筒を郵送して、日赤会員の会費の徴収を行った。

【社資内訳】 (単位：円)

区 分	金 額
戸 別	1,472,975
会 費	958,700
寄 附	60
募金箱	0
合 計	2,431,735

【加入会員数】 (単位：人)

区 分	一般会員 ()は新規加入	赤十字奉仕団
金色有功章	4 (0)	1 (0)
銀色有功章	8 (0)	1 (0)
特別社員	572 (2)	44 (0)
協力会員	43 (0)	110 (4)
合 計	627 (2)	156 (4)

- (2) 特別社員、有功章社員が死亡した際、日本赤十字社石川県支部長の弔電をお供えした。
(23件)

2 災害救護活動の実施

家屋火災の被災者へ毛布、緊急セットを配布した。(毛布4枚、緊急セット3セット)

3 大規模災害への対応

令和4年8月の大雨災害義援金に12,827円、ウクライナ人道危機救援金に193,328円の受付をした。

VII. 貸付事業の実施

1 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

- (1) 低所得世帯、障害者世帯及び高齢者世帯に対して、その世帯の経済的自立、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送ることができるよう生活福祉資金の貸付事務を行った。令和4年度中に償還が完了した者は1名、償還中は12名で、新規の貸付は0件であった。

- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が一時的または継続的に減少した世帯に対して総合支援資金及び緊急小口資金の特例貸付事務を行った。新規の貸付は緊急小口資金5件、総合支援資金4件だった。特例貸付の受付は令和4年9月末をもって終了した。

特例貸付総件数 緊急小口資金：51件

総合支援資金：29件(うち延長11件、再貸付8件)

※令和5年3月末現在の償還免除件数 緊急小口資金18件、総合支援資金10件

2 小額貸付事業

緊急に生活資金を必要とする者に対し、生活のつなぎ資金として小口貸付を行い、生活の安定を図った。令和4年度における貸付は6件であった。

VIII. 在宅介護サービス事業

1 居宅介護支援事業

在宅の要介護及び要支援高齢者に対して日常生活を営むために必要なケアプランを作成し、町

や福祉サービス提供事業者と連携を図りながら、適切な保健医療・福祉サービスが効果的に提供されるように努めた。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
富来	787	769	702	567	475
志賀	1,185	1,183	1,107	1,171	1,203

【月別利用者数】 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	65	67	68	72	73	69	69	65	61	60	56	62	787
志賀	101	100	98	99	101	100	100	99	93	97	96	101	1,185

【要介護度別延べ利用者数 (割合)】 (単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
富来	386(49.0%)	227(28.8%)	129(16.4%)	37(4.7%)	8(1.0%)	787
志賀	328(27.7%)	418(35.3%)	212(17.9%)	138(11.6%)	89(7.5%)	1,185

【月別介護予防ケアプラン作成件数】 (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
志賀	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

2 訪問介護事業

要介護高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、在宅で日常生活を営むことができるよう生活援助及び身体介護サービスの提供を行った。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
1,071	1,051	1,011	1,141	1,055

【月別利用者数】 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
93	90	86	84	86	90	90	95	90	89	86	92	1,071

【要介護度別延べ利用者数 (割合)】 (単位：人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
383(35.8%)	312(29.1%)	176(16.4%)	126(11.8%)	74(6.9%)	1,071

【要介護度別延べ提供回数 (割合)】 (単位：回)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
5,444 (26.8%)	5,552 (27.3%)	4,990 (24.5%)	2,429 (11.9%)	1,916 (9.4%)	20,331

3 介護予防・日常生活総合支援事業

要支援高齢者及び事業対象者に対してホームヘルパーを派遣し、必要な援助を行うことで自立した日常生活を継続できるように努めた。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
296	315	323	317	330

【月別利用者数】 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
27	26	27	24	26	24	23	23	24	24	24	24	296

【要介護度別延べ利用者数 (割合)】 (単位：人)

事業対象者	要支援1	要支援2	計
61(20.7%)	49(16.3%)	186(62.9%)	296

【要介護度別延べ提供回数（割合）】 (単位：回)

事業対象者	要支援 1	要支援 2	計
351(18.6%)	300(15.9%)	1,241(65.6%)	1,892

4 在宅高齢者軽度生活援助事業（町受託事業）

介護認定で自立と判定された独居高齢者等に対してホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活の援助を行うことで自立した在宅生活の継続及び要介護状態への進行防止を図る事業であるが、令和4年度の利用は0件であった。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
0	0	0	0	0

5 居宅介護事業

障がい者(身体・知的・精神)に対してホームヘルパーを派遣し、身体介護や自立した日常生活を送ることができるよう家事援助等の支援を行った。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
198	208	191	196	194

【月別利用者数】 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
17	16	17	17	17	15	15	16	17	17	17	17	198

6 重度訪問介護事業

重度の肢体不自由または重度の知的障がい、もしくは精神障がいがあり常に介護を必要とする方の居宅に訪問し、入浴、排泄、食事等の生活全般にわたる援助や外出時における移動中の介護を総合的に行うことで、在宅での生活が続けられるように支援を行う事業であるが、令和4年度の利用は0件であった。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
0	0	0	1	4

7 同行援護事業

視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する方等に対してホームヘルパーを派遣し、外出時における移動に必要な情報を提供するとともに移動の援護を行う事業であるが、令和4年度の利用は0件であった。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
0	0	0	0	0

8 移動支援事業（町受託事業）

屋外での移動が困難な障がい者等に対して、ホームヘルパーによる外出の支援を行い、地域での自立生活及び社会参加の促進を図った。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
19	10	11	11	25

【月別利用者数】 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0	0	0	1	1	1	0	2	3	2	4	5	19

IX. 地域包括支援サブセンター受託事業（町受託事業）

1 高齢者総合相談支援業務

高齢者の生活・介護などの困りごとについて相談を受け付け、個々の高齢者にどのような支援

が必要かを判断し、地域における適切なサービス、福祉・医療関係機関などにつなげる等の支援を行った。(延べ300件)

2 権利擁護業務

高齢者の人権や財産を守る権利擁護事業、高齢者自身が自分の判断で財産等を管理することができなくなった時に活用される成年後見制度など、権利擁護に関するサービスや制度を活用するために、行政機関や福祉関係機関につなぎ、高齢者の虐待防止や消費者被害の防止を図った。(延べ29件)

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の介護支援専門員や主治医をはじめ、民生委員や老人福祉員等様々な福祉・医療の関係者が連携・協働することで、保健・医療・福祉、その他の生活支援サービスを含め、地域における様々な社会資源を活用し(包括的)、高齢者がどんな心身状態になっても途切れることなく(継続的)、在宅でも施設でも、その人の生活を支援した。(延べ148件)

4 介護予防支援と介護予防ケアマネジメント業務

要介護・要支援認定における要支援1・2の方及び事業対象者に対する介護予防支援、要介護・要支援状態になる恐れがある方に対するケアプランの作成を行い、適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう必要な援助を行った。(延べ226件)

X. 在宅医療・介護連携支援センター受託事業(町受託事業)

1 在宅医療に関する専門相談業務

かかりつけ医や介護支援専門員といった医療・介護等のサービス提供者からの在宅医療サービスに関する相談(訪問診療、訪問看護、後方支援病院等)に対して、必要な情報提供、支援・調整を行った。(延べ75件)

2 病院からの退院調整の支援業務

退院後の円滑な在宅医療を開始する際に支障がある場合、医療機関の地域連携室からの要請に応じ、医療機関が実施する退院調整の支援を行った。(延べ36件)

3 多職種・多機関の連携推進

地域の医療・介護等関係者の連携を実現するため、お互いの業務の現状等を知り、顔の見える関係づくりを目的とした研修会等を行った。(47回)

IX. 在宅医療・介護連携支援センター受託事業（町受託事業）

- 1 在宅医療に関する専門相談業務 → 「1. 相談実績」の延べ人数
- 2 病院からの退院調整の支援業務 → 「1. 相談実績」の相談内容のうち、退院支援の件数
- 3 多職種・多機関の連携推進 → 「2. その他」の件数